

当日、フードドライブしました。 ご協力ありがとうございました。

食品の流れ



店舗はサービスカウンター横など、
組合員会館は入口スペースなどに
回収ボックスを設けています

このピンクの
ボックスに
入れてください



おおさかパルcoopは、企業や家庭で余って廃棄になる食材や商品としては扱えないが食べ物としては全く問題のない食品の寄付を受け、地域の子ども食堂や支援を必要とする人たちを支える「なにわフードバンクしっかり食べや」に提供しています。

●パルcoopのホームページでも
詳しく紹介しています
http://www.palcoop.or.jp/au_ji/kodomoshokudou/fooddrive.html



フードドライブとは？

フードドライブというのは、ご家庭で、賞味期限は切れていないが、忘れられて保管されたままになっている、「もったいない食品」を、参加者が探し出して持ち寄り、集めて、フードバンクに寄付するチャリティイベントです。フードバンクは、それら食品を回収し、ボランティアの手で、支援を必要とする人達に無償で届けます。

その背景は？

日本では、まだ食べられるのに廃棄される食品（食品ロス）が年間500万～800万トンも発生し、それは、お米の年間総収量にも匹敵します。これらは、食品流通関連企業、外食産業、そして家庭から排出されるのですが、家庭で廃棄される量が最も多く、200万～400万トンと推測されています。

調査の結果、家庭から出る生ごみの中の22%が手つかずの食品で、賞味期限がまだ過ぎていない未使用の食品が4分の1も含まれていたということです。これら家庭で廃棄される未使用の食品は、全量が生ゴミとして処理され焼却処分されてしまいます。日本は食糧自給率がカロリーベースで39%と、世界の中で大変低い国であるにもかかわらず、このように大量にもったいない食品を生みだしています。皆さんのご家庭にも、忘れ去られて、そのうち賞味期限が切れて捨てられる「かわいそうな食品」がありませんか？ それらを救出し、食べ物として大切に活用するのがフードドライブです。

フードドライブに参加して、「私達の地域を、明るく住みよい場所にするため」の最初の一步を踏み出してみませんか？ 皆さまのご協力をお願いいたします。